



しまてらす

2021年10月1日発行

糸島市志摩初 18 番地 3

TEL/FAX 092-327-1734

E-mail : kaya.k@city.itoshima.lg.jp

No.19号



これからの台風シーズンに向けて

災害から身を守る！！



9月17日(金)台風14号が糸島市を通過！今回の台風では大きな被害はありませんでしたが、近年、各地で大雨や台風による大規模災害が多発しています。自分の身を守る為には情報収集と早め早めの避難行動が重要となります。日頃からハザードマップでの危険箇所の確認や避難場所の確認、防災グッズの点検をしておきましょう。



<災害時の情報収集>

防災行政無線放送 内容確認ダイヤル	0120-315-470	
糸島市防災ポータル	スマートフォン用防災サイト	
dボタン	テレビの「dボタン」を押すだけで 避難情報を簡単に確認できる	

<防災グッズリスト> ※避難所に持参した方が良いもの

- 非常食・水・現金・保険証・お薬手帳・マスク・体温計
- 懐中電灯・室内用スリッパ・タオルケット(毛布)・常備薬
- 着替え・タオル・歯ブラシセット・携帯電話とその充電器
- 粉ミルク・哺乳瓶・紙おむつなど(乳幼児をお連れの方)

警戒レベル4は避難指示(全員避難)です。ためらうことなく、早め早めの避難を心がけましょう。



防災メール
まもる君



可也コミュニティ
センター

作業お疲れさまでした！

台風14号が去った9月18日(土)朝7時より、可也の里の会員の方々と、初川土手の草刈りと、中央公園円形花壇の草刈り作業が行われました。前日の台風がもたらした雨で足元の悪いなかの作業でしたが、校区のためにきれいに頂きありがとうございます。早朝からの作業お疲れさまでした。



円形花壇と初川土手の草刈り作業

本寄贈のお知らせ



糸島新聞社様より、下記の書籍がコミュニティセンターに寄贈されました。コミュニティセンターロビーに置いてあります。市民の方に広くご覧頂ければとのことですので、「読書の秋」の一冊に！

- 改訂版 糸島伝説集
後世に残したい糸島地区の伝説や民話全75話を収録
- 糸島の方言
時代とともに少しずつ失われていく糸島地域の方言を収録



糸島新聞社寄贈

校区事業の中止について

コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の事業が昨年に引き続き中止になりました。誠に残念ではございますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

10月23日(土)～24日(日)

可也校区文化芸能祭

11月7日(日)

第30回志摩地区市民ソフト
バレーボール大会



10月の行事予定

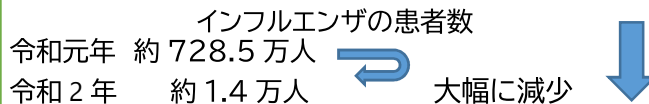


2日(土) 10:00	アンビシャス広場
5日(火) 19:00	区長会
6日(水) 13:30	かしまし学級(1回目)
8日(金) 10:00	ダーツクラブ kaya
9日(土) 10:00	アンビシャス広場
12日(火) 10:00	初心者向け運動講座⑩
13日(水) 10:00	おとなの歴史旅
13日(水) 13:30	かしまし学級(2回目)
16日(土) 10:00	しま歴史探検隊
20日(水) 13:30	かしまし学級(3回目)
23日(土)	弁当の日映画上映会
26日(火) 10:00	初心者向け運動講座⑪
27日(水) 10:00	かしまし学級
27日(水) 10:00	おとなの歴史旅



★行事予定は変更になる場合があります。

インフルエンザの予防



令和2年は、インフルエンザの患者数が大幅に減少しました。マスクの着用や手洗い等、感染予防対策の徹底が要因の1つと考えられています。感染予防対策を継続し、インフルエンザを予防しましょう。



①鼻の形に合わせて隙間をふさぐ



②マスクは顎下まで伸ばし顔に隙間なくフィットさせる

※着けたら外側はふれない

※紐をもってマスクを着け外しする

問い合わせ：糸島市健康づくり課 ☎332-2069

灯台下暗し No. 18

趣味の手芸を生きがいに
島本 ヒナ子さん 志摩師吉



今回ご紹介するのは、手芸の達人島本ヒナ子さん。(志摩師吉在住)「私の手芸はすべて独学なので達人なんて」と謙遜されるかもしれないが、その作品はどれもが独学とは思えない素晴らしい出来栄で驚く！まさしく手芸の達人である。ご出身は広島で、結婚、転勤で北九州から姪浜へ。そしてこの糸島へ移住して38年になるとのこと。手芸との出会いは姪浜で暮らしていた頃のネクタイ作りに始まる。もともと手作りが好きで、独学で色々な作品を作ってきたそうだ。

そんな島本さんが唯一習ったのが布草履作り。その工程は、①布地の下処理→②洗濯→③裁断→④アイロン→⑤素材の完成→⑥編む。素材の生地は購入の他、着物をほどいたもの、綿の柄物のシーツの再利用など、いまでいうSDGsの理念に匹敵する。手間がかかる布草履作りは編むまでの下準備の大変さにより、先生からは「10人教えて1人残るかどうか」と言われたそうだ。そんな手間のかかる工程を経て1足を編むのに3時間ほど。

島本さんの編む布草履は下処理がとても丁寧なので出来上がりがとても美しく、しかも配色も素敵なので評判がいい。しかしながら、使い捨てや安価で何でも揃う今のご時世、なかなか手作り作品の需要がなく販売するとすると厳しい現実がある。ご自身は、「販売は二の次、人に差しあげて喜ばれるのが好き」と笑顔で答えられる。本当に手芸がお好きなのだと思います。コロナ禍で2年続けて開催できていないが可也校区の文化祭出展の常連さんでもある。

子育てを卒業して自分時間が増えるようになった今、自分の好きな手芸への創作意欲は衰えを知らず、コロナ禍でお家時間が増えた今日も布草履や小物づくりに精を出されている。生き生きと楽しく過ごされているお姿は、とても輝いて素敵でした。(塩田)



布草履



手作りの布草履を編む台



エコクラフトのかご

わがまち自画自賛

小金丸西行政区は火山の南西部、妙楽寺と法照寺の二つのお寺から幣の浜へと続く比較的広い行政区です。古くから主に農業を営まれている方々と新しく来られた方々が半々くらい。年齢は子育て世代からシニア世代まで幅広く、立ち並ぶ住宅もさまざま、住宅街の中には個性的なお店も点在しています。徒歩圏内の「幣の浜」は玄海国定公園区域。白砂が広がる遠浅の海岸で、天気の良い日には遠く吉岐や対馬も望むことができます。雑木林を抜けて海岸に出ると、目の前は絶景。特に夕日の美しさは格別です。

海岸の景色だけでなく、小麦やダイコン、ニンジン、大豆、スイカなどなど季節の作物が整然と植えられた畑の美しさや、その合間に咲く四季折々の花々も住民の目を楽しませてくれます。

このように自然に恵まれている一方で、スーパーや病院などに行くには車がかかせません。そのため、ちょっとした買い物には移動販売も活用されています。また可也小学校まで遠いので子どもたちの徒歩通学はなかなか大変ですが、6年間がんばれば、志摩中はすぐそばです。ゆったりのにんびり過ごせるわがまちに、是非一度お立ち寄りください。

小金丸西行政区区長 坂田 昌和

